

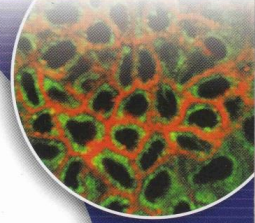
Experimental Medicine

Vol.31-No.17 2013

第31巻第17号 2013年11月1日発行  
1985年12月25日第三種郵便物認可 ISSN0288-5514

実験医学 **増刊**

www.yodosha.co.jp/jikkenigaku/

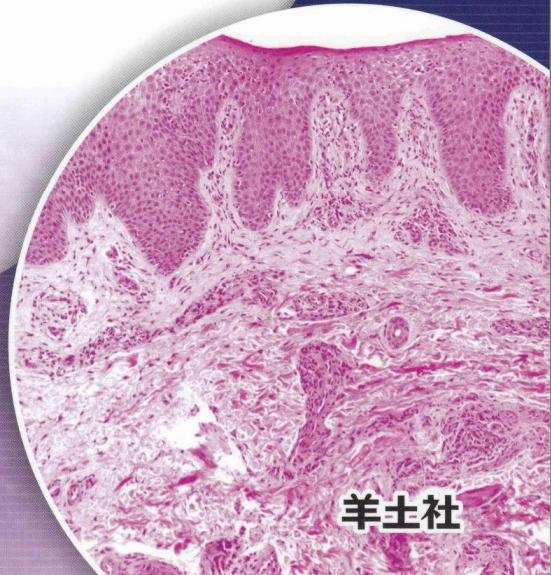
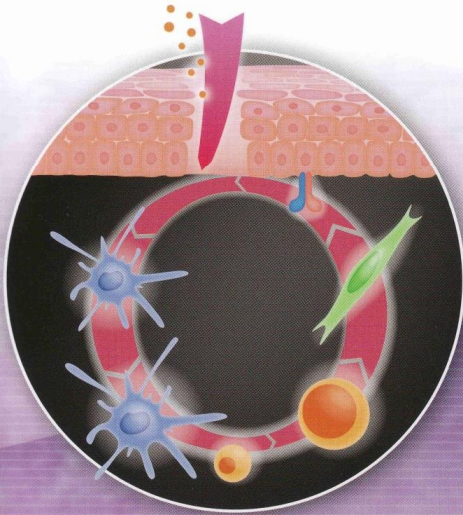


病態の理解に向かう

# アレルギー 疾患研究

—なぜ、アレルギーが起こるのか？  
発症・進展の新概念と臨床への展開

編集＝花島健治



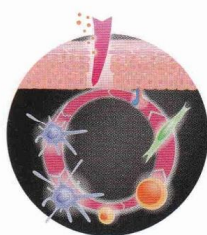
羊土社

# CONTENTS

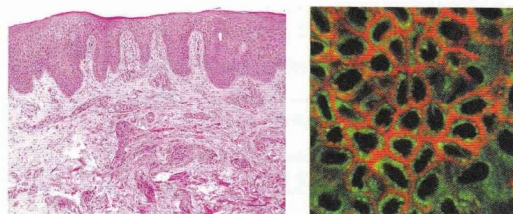
## 第5章 創薬・臨床応用に向けて

1. アレルギー疾患に対する分子標的治療  
— IgE, サイトカインを標的とした喘息治療を例に ..... 中島裕史 179 (2865)
  2. 日本人の遺伝的背景とアレルギー ..... 広田朝光, 玉利真由美 186 (2872)
  3. ワクチンによるアレルギー予防と治療 ..... 小笹浩二, 石井 健 193 (2879)
  4. アレルギーに対する免疫療法 ..... 中尾篤人 199 (2885)
- 索引 ..... 204 (2890)

### 表紙イメージ解説



アトピー性皮膚炎における炎症の増悪化機構  
詳細は本文91ページ(第2章-7)を参照



アトピー性皮膚炎の病変部における皮膚のHE染色像(左)と二光子励起顕微鏡で観察したマウス表皮ケラチノサイト(右)  
左)炎症細胞の真皮への浸潤と表皮の肥厚が認められる。右)アイソレクチン(赤)とBODIPY(緑)で染色してある〔写真提供:京都大学大学院医学研究科・梶島健治先生(左), 江川形平先生(右)〕